

内海善雄前「IT」事務総局長 「デジタル通信革命の舞台裏」

様々な出来事を「デジタル通信革命の舞台裏」として

日本の電話やインターネットサービスは、品質、価格とも世界最高水準にあります。それには電気通信自由化による競争市場の形成が大きく寄与したといえます。この自由化を実現させたのは、1980年郵政省（現総務省）に誕生した「電気通信政策局」です。

郵政省が現業官庁から政策官庁へと脱皮して電気通信は、国営独占事業から民間競争事業となりインターネットが出現、世の中が一変しました。それから30年。世界を

制覇した日本のエレクトロニクス産業は韓国や中国企業に押され大変苦戦を強いられています。

24日から連載

元氣だった頃の日本は一体現代とどこが異なるのか、歴史に学ぶ必要がありそうです。

そこで、郵政省で通信の自由化に携わり、国際舞台でも活躍された内海善雄前「IT」事務総局長に、この30年間に起きた

振り返り、日本のテレコム産業発展への道筋を提言してもらおうことにしました。24日から連載します。

【内海善雄氏略歴】1

965年東京大学法学部卒業、同年東芝入社。66年郵政省入省、総務審議官などを歴任した。99年「IT」事務総局長。現在はトヨタ「IT」開発センター最高顧問、海外通信・放送コンサルタント協力（JTETC）理事長などを務める。早稲田大学客員教授でもある。